敬老パス（カード）改善に向け市と話し合い

調査を早く行い、来年度の改善を

話し合いには各団体、地域連絡会などから約３０人が参加しました。

「札幌敬老パスを守る連絡会」は８月２５日、市の高齢福祉課と話し合いを持ち、０５年度の敬老パス予算の実績についてと、今後の改善に向けた考え、計画を聞きました。市側から宮川学保健福祉部長などが出席しました。

この中で市側は、６月の第２回定例市議会で市長などが答弁した「制度の改善について検証・検討」の具体化については、１１月の高齢者意識調査と併せて敬老カードの調査も行う計画で、内部検討を始めていることを示しました。それを来年度の改善資料として反映できるかどうかについては、明言を避けました。

話し合いで出された意見、市側の答え

☆（連絡会）申請が前年度より減っているのをどう見るか（05年78.2%→06年76.5%）

●（市の答え）詳細は不明。制度が定着して必要としない方の申請が減ったこともある。

☆５万円カードが最も申請が多いのは「足りない」という利用者が多い反映ではないか。

●余ったら返金できることになったので、多い金額を選んだのではないか。

☆追加交付の状況は？

●8/１１までにおよそ４０００件の追加申し込みがあった。

☆昨年実績では前年度に比べ、約９億円市の支出が減っているのをどう見るか。

●市としても予想外である。決して減らそうというつもりとか、予算削減のためではない

★（連絡会の意見）これは上限設定などの制約が行われたことで、多くの高齢者が利用を減らした結果ではないか。様々なアンケートでも出ているように、外出抑制になっている実態をよく見てほしい。

☆改善のための調査をいつするのか、その結果を来年度の改善に反映させるのか

●今具体化を図っており、１１月の高齢者意識調査に併せて敬老カードの調査もすることになると思う。その結果をまとめ、分析して来年度に間に合うかどうかは分からない。市長などからそのような指示は出ていない。

★（連絡会の意見）来年の改善に役立つように調査し、意見を聞くことに意味がある。調査を早くすすめ、来年度の予算に繁栄できるようにしてほしい。

☆その他の改善をどう考えているか

●交付の手間がかかりすぎる、個人情報の漏洩がないかなど意見があるので、改善について検討中。

その他出された意見

☆南区ではバス料金が一律ではなく、不公平感がある。☆カードを使いきれるようにならないか。

敬老カードの破損

カードが折れ曲がるなどして、使えなくなった場合は、地下鉄駅の事務所で交換してもらえます。残った額で新しいカードにしてくれます。

Fax通信 ０６年９月１日

札幌敬老パスを守る連絡会

白石区菊水3条3丁目 井上ビル 札幌社保協気付

TEL ８２３－０８６７Fax ８２１－３７０１

www.sapporo-syahokyo.jp/syaho_pass.htm